愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼稚園の、一日の生活リズムや流れがあるのか、園生活の園環境が想像できる授業にする。教師（保育者）は、朝早くから何を準備し、子どもの登園を待つのか。子どもが夢中になって遊べる保育室や園庭の環境についてを学生と考えたいといった教員の考えを伝える。そこで、学生の興味・関心は何か、下記１，２の具体的な場所、対象物、保育内容を基に、取り組むゼミ研究テーマの設定を行う。研究テーマに基づいて、資料収集や調査方法の手法を用いて実践的に学ぶ。これら一連の活動を通して、自らの考え（仮説）に根拠をつけて説明する力、仲間と協力して活動する対人関係能力を養う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	課題に対しディスカッションやグループワークを用い、必要に応じてフィールドワークを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の計画と説明、前期の注意事項（履修の手引き・履修登録確認、時間割記入用紙配布）大学祭（や幼児と関わる実践の場）、各実習、ゼミ発表についての確認	□
第2回	ゼミ活動❶1年生までの研究実践の成果と課題、大学祭や実践の場の活動とゼミ活動の関係（ゼミ課題と大学祭や保育園等のつながりの確認）、これから目指す自己課題	大学祭（や幼稚園、児童館：実践の場）の環境構成と子どもの動き追究（私は何をゼミで追究したいのか：例）ものと人の位置、整備、安全性、環境づくりの在り方）	□
第3回	学年ゼミ ・情報検索ガイダンス、図書利用について	図書館職員説明、ガイダンス説明による情報検索理解度確認のレポート（提出日４回 知りたいことを検索し、分かった事の記述 ）	□
第4回	ゼミ活動❷・自然物（草花あそび）・身近な素材による遊び・伝承あそび・の環境と活動内容 ・環境構成の心得を学ぶ	自然・伝承あそび（ゼミ）遊び場の運営のために何を準備するのか ・あそびができる環境、できる遊びは何かを知る、みつける、創り出す（基本は大人が子どもになる）	□
第5回	ゼミ活動❸・自然物（草花あそび）・身近な素材による遊び・伝承あそび・の環境構成と活動内容の具体的な情報収集 ・環境構成と幼児と教師の行動とイメージを学ぶ	ゼミ内で1本づつの柱を立てよう ・あそび内容・実践・振り返り・その1 （活動内容組立て=①定義：なにものか、なぜ取り組むか　②起源：いつ、どこではじまり、面白さはどこか　③歴史　④分類　⑤現状振り返り）	□
第6回	ゼミ活動❹活動の形態（一斉活動と主体的に選んで遊ぶ活動）を学ぶ ・導入、展開、まとめを考え、教師の役割（導入の重要性）を学ぶ	・あそび内容（調査・打合せ）・実践・振り返り・その２ （研究論文土台：テーマ・目的・調査方法・結果・進めるための図書館本等の検索から得たものはあるか）	□
第7回	ゼミ活動❺・〇〇遊びと活動形態を学ぶ（一斉活動と主体的に選んで遊ぶ活動の形態で遊ぶか、考えて実践する） ・導入、展開、まとめを考え、教師の役割（モデル的援助者）を学ぶ	あそび内容（調査・打合せ）・実践・振り返り・その3 （研究論文土台：テーマ・目的・調査方法・結果・進めるためにテキスト資料の検索から得るものはあるか）	□
第8回	大学祭や実践（保育園、児童館）のための演習活動 ・aグループ・子ども選択参加型・伝承あそび場の援助の在り方	aグループ・自然・伝承あそび場の実践と振り返り、自己課題・確認のレポート（提出日　10回）	□

第9回	大学祭や実践（保育園、児童館）のための演習活動と研究内容の確認 ・ｂグループ・子ども一斉形態参加型・伝承あそび場の援助の在り方	ｂグループ・自然・伝承あそび場の実践と振り返り、自己課題・確認のレポート（提出日　10回）	□
第10回	ゼミ活動❻研究の実践に向けて ・cグループ・自然体験活動に関する遊び研究、	ｃグループ・自然・伝承あそび場の実践と振り返り、自己課題・確認のレポート（提出日　10回）	□
第11回	研究結果の考察（ゼミ小グループ活動） ・abcグループの援助の在り方における成果と課題	実践と考察から、成果と課題を意見交流する。実践するための部分実習に向けてグループで導入、展開、まとめ3段階計画を立ててみよう	□
第12回	研究発表資料の作成（ゼミ小グループ活動）	部分実習に向けてグループで計画を立てる（実習のために具体的導入研究）	□
第13回	ゼミ内発表に向け保育教材の作成（ゼミ小グループ活動）	保育教材内容の確認・作成（実習のために具体的導入に保育教材はどのように利用すると良いのかの追究研究）	□
第14回	研究発表（ゼミ小グループ活動）の準備	研究・実践・保育教材・発表の準備（発表順番、内容チェックと声合わせ、等最終確認）を会場確保し・模擬的実施を行う	□
第15回	ゼミ活動❼研究発表(研究成果の発表)	研究・実践・保育教材・発表の振り返りと成果。交流後、内容と気づきをレポート記述・まとめ（提出7月内）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として次回の授業テーマに関連する内容について資料をまとめる（2時間程度）。　・事後学習として、授業でわかったことや疑問に思うこと意見・感想をノートに整理する。出された課題レポートをまとめる（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題の設定内容、発表内容について、妥当な内容か、教員は、補足、説明を加えて再考できるようにする。各自、教師、保育者としての専門性が重ねられるよう、小レポートで意見をまとめて提出する。添削して返却し、考え方、記述方法（3段落、誤字脱字、書き言葉、である調等）をフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	保育者の免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能について、資料収集や調査方法の手法を理解し、それらの結果をもとに自分の考えを構築したり、修正して深めたりできる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	現代の教育・保育現場の多様な問題や課題に向き合う力強い思考力・判断力、豊かな表現力習得について、課題研究では、先行文献、演習体験をもとに分析し、自らの考えを根拠をつけて説明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	幼・小・保をはじめとする児童福祉施設での教育・保育に主体的協働的に携わる幅広い人間力を体得するにおいて、仲間と協力して活動する中で、他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

レポート課題4（70）「学生の興味・関心は何か。具体的な場所、対象物、保育内容を基に、取り組むゼミ研究テーマの設定（10）」「子どもと接する保育時間30分の依頼がきました。幼児とできる予想活動・環境図の指導計画案（10）」「保育教材制作」「ゼミ課題　自己紹介、絵本、遊び紹介（導入）とその願いとねらい（１0）」「小グループの学び発表：テーマと内容と考察とまとめ（30）」

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	大学生のためのレポート・論文の書き方	978-4-8163-5057-3
2		
3		

4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	にほんのあそび研究委員会／編「にほんのあそびの教科書」東京：滋慶出版　土屋書店	978-4-8069-1301-6
2	かこさとしこどもの行事しぜんと生活(全12巻セット)	
3	こんなにある草花遊び / 千葉幹夫文 ; 宮下まさつら絵	
4	自然図鑑ー動物・植物を知るために（Do!図鑑シリーズ）	
5	生活図鑑ー『生きる力』を楽しくみがく（Do!図鑑シリーズ）	